

簿記論(会計人)Ⅰ

科目ナンバリング ACC-311
選択(会計人) 2単位

金子 善行

1. 授業の概要(ねらい)

簿記は財務諸表を作成するためのツールでもあります。企業活動や資金の流れを理解するうえでも必要不可欠の知識です。本授業では、簿記原理、上級簿記までの知識を有していることを前提として、発展的な簿記処理を学びます。日商簿記検定試験2級以上を念頭に置いて、授業を進めていきます。特に、簿記論(会計人)Ⅰでは、日商簿記検定試験2級の試験範囲を中心に学習します。

2. 授業の到達目標

発展的な簿記処理および企業活動を理解することができるようになることです。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験90% 授業への取り組み10%

4. 教科書・参考文献

教科書

渡部裕巨・片山覚・北村敬子 検定簿記ワークブック2級 最新版 中央経済社

5. 準備学修の内容

簿記検定試験の合格を目標とするからには、問題演習が必要不可欠です。復習の際には、授業で扱った問題を3回は解くように意識して下さい。

6. その他履修上の注意事項

簿記検定試験は年々難化傾向にありますので、少しでも早く合格することができるように、各自日々の復習を心がけましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 現金預金と売掛金
- 【第3回】 手形
- 【第4回】 有価証券
- 【第5回】 その他の債権・債務
- 【第6回】 商品売買
- 【第7回】 固定資産
- 【第8回】 引当金
- 【第9回】 収益と費用
- 【第10回】 株式会社の純資産(資本)
- 【第11回】 税金
- 【第12回】 リース会計
- 【第13回】 外貨建取引
- 【第14回】 税効果会計
- 【第15回】 授業のまとめ(オンライン授業)